

令和7年 地域連携推進会議 議事録

開催日時：令和7年8月25日

13:20～15:00

構成員参加者：利用者代表1名、利用者家族代表1名

町内会長1名、支援学校教頭1名、市消防団分団長1名

社会福祉法人施設長1名、社会福祉法人児童発達支援管理責任者1名

施設苦情解決相談員1名

施設側参加者：施設長1名、次長兼サービス管理責任者1名

議事録記録者：次長兼サービス管理責任者

開会の言葉

開会の挨拶

出席者紹介

各自自己紹介をする

会議の議題について

1、地域連携推進会議について

会議の目的・内容・効果について説明。

2 サービスの透明性・質の確保について

- ・指定を受けている事業について紹介
- ・施設内の行事や活動の紹介（資料の写真を参考に説明）
- ・業務継続計画の策定状況について
- ・事前災害発生時における事業継続計画

【構成員の方からの質問やご意見】

（町内会会長）

災害時、道路が通行止めになるので、注意をしておく必要がある。

（利用者代表）

第一避難所となる美術館は備品がそろってますか？トイレとか色々ないと困る。

（支援学校教頭）

支援学校は想定される津波の高さで2種類の想定を行っている

①支援学校の3階へ垂直避難を想定

南海トラフなどの大地震の場合は

②隣接する高等支援学校の5、6階へ垂直避難を想定

※車いす利用の生徒が在籍しているので、配慮している。また、外に避難しないので天候に左右されないことがメリット

（町内会長）

想定外の被害もあるので、しっかりと準備をする必要がある。

地域の防災倉庫について話がある。地域の備蓄品がどんなものがあるか、施設の備蓄品がどんなものがあるか、今後情報共有をしていくことも検討してはどうか。

(消防団分団長)

災害が起きた後、一番は電力の心配があるが。他には炊き出しや備蓄についてはどうか施設内で準備することも必要では、数日間の備蓄、避難した後の準備をする必要がある。

(施設より)

備蓄品について説明、夜間職員少数の場合は垂直避難、夜間の避難訓練も実施

(福祉施設施設長)

グループホームでは、非常時は地域の避難場所へ避難を想定している。

同じく、電力の確保が難しいと感じている。

### 3、地域との連携について

地域やボランティア団体との交流について説明。

福祉避難所の周知

### 4、利用者の権利擁護について

令和6年度、令和7年度直近までの事故報告、ヒヤリハットについて説明

【構成員からの質問やご意見】

(支援学校教頭)

暴力による他害行為、令和6年度と令和7年度で比べると減っていたのはなぜか。

(施設より)

- ・事故が起こった原因や時間帯を確認し、起こりやすい時間帯や場所に職員をうまく配置  
利用者の様子を観察し、事故に至る前に職員同士情報交換しながら未然に防ぐ意識を持つようにしている。
- ・市への報告について、階段からの転落事故。安全のために環境を整える計画をしている。  
階段スペースの前に扉を設置予定
- ・虐待防止センターへの報告について、不適切支援があり報告をした。  
働きやすい環境を整えながら、支援の質の向上を目指して取り組みを行う。  
利用者対応をしていると、感情を逆なでるようなやり取りが実際にはあり、疲弊する何か、具体的に良い取り組みがあれば教えてほしい。

(支援学校教頭)

物理的な安全管理と利用者の安全管理について、難しい面がある。

物理的な安全管理を優先させると、利用者が不便さを感じてしまうこともある。

その時に必要なのは、利用者へ説明して、納得してもらうこと。

職員のメンタリティーへの配慮、職員同士で言葉を掛け合うことも必要

気になる職員がいれば、複数の職員で声をかける機会を設ける等している

少しでもいいので、不満を噴出できる機会を作ることも必要。

イライラもするし、嫌なこともあるが、その感情を自分で認められるかどうか。

働いている職員自身が自分の気持ちを認めていくことが必要。

(施設より)

事故報告・ヒヤリハットについて、利用者間の他害、暴力行為や服薬に関するリスクが

多い環境を整える、安全対策を実施、支援員の配置調整、手順の見直し、情報共有等に努める。

#### <施設内を見学実施>

チェック項目を評価しながら施設内を案内する。

活動中の利用者の様子や、支援している職員の様子なども見てもらう。

【地域連携推進会議に参加して、構成員より感想や意見】

(町内会長)

何かあったときに、夜間帯 1 人か 2 人の職員で対応ができるか？気になる。

水害はないが、火事などが起きたときに大丈夫か？

夜間帯、職員配置が少ない時に地域の方の助けが必要

(支援学校教頭)

老人介護施設要の人員配置の要件のように、障害福祉の分野も人員配置の見直しが必要ではないか。利用者のことを尊重しながら支援していると感じた。

何かあったときには協力し合いながらしていきたい

(消防団分団長)

大災害の時には、消防局や消防団は足りない状況になる、地域の中や各事業所で共助し合う関係をつくってほしいと思う。

日頃から訪問する機会があるが、利用者と職員の関係もいい印象を持っている。

(福祉施設施設長)

夜間帯の大変さ、支援の大変さなど感じた

最小限のスタッフで訓練を繰り返し行うことで、少しずつ改善していきたい

(施設苦情解決相談員)

ひとりひとりの障害の特性や状況に寄り添って対応している

学校は日中の安全管理をしているが、入所施設は 24 時間。大変な仕事だと思った。

(利用者家族代表)

施設内清潔でトイレもきれいに清掃できていた。虫などもないので驚いた。

閉会の挨拶